

浜田市の概況



平成 29 年度の完成に向け建設工事が進む
臨港道路福井 4 号線

住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田

～豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にするまち～

平成29年7月

目次

1 市勢	頁
(1) 概況	1
(2) 沿革	1
(3) 浜田市の変遷	2
(4) 位置	3
(5) 市章	3
(6) 憲章・宣言など	3
(7) 市の花、木、魚	3
2 人口	
(1) 国勢調査からみる人口の推移	4
(2) 住民基本台帳登録数からみる人口の推移	5
(3) 自然動態の動向（出生と死亡）	6
(4) 社会動態の動向（転入と転出）	6
3 高等教育機関の状況	
(1) 島根県立大学浜田キャンパスの状況	7
(2) リハビリテーションカレッジ島根の状況	8
(3) 浜田医療センター附属看護学校の入学状況	9
(4) 浜田准看護学校の入学状況	9
(5) 浜田ビューティーカレッジの入学状況	9
4 教育・児童福祉の状況	
(1) 小中学生数の推移	10
(2) 幼稚園（公立）の園児数の推移	10
(3) 市内県立高校（3校）の卒業者数の推移	11
(4) 高校生の就職状況	11
(5) 浜田市立図書館の利用状況	12
(6) 子育て支援センター（すくすく）利用者数の推移	13
(7) 世界こども美術館利用者数の推移	13
(8) 石正美術館入館者数の推移	13
5 産業経済の状況	
(1) 水産業	14
(2) 浜田港の利活用	15
(3) 農業	16
(4) 商業	17
(5) 工業	17
(6) 観光	18
(7) 主要施設の利用状況	19
6 高速道路の状況	
(1) 浜田自動車道通行量の推移	24
(2) 金城スマートIC通行量の推移	24
(3) 山陰道（江津道路）通行量の推移	25
(4) 山陰道浜田・三隅道路（原井IC～石見三隅IC）通行量の推移	25
7 財政状況	
(1) 平成29年度当初予算の概要	26
(2) 市民1人当たりの歳出状況	27
8 浜田市における主要プロジェクト	
(1) 最近実施した主要プロジェクト	28
(2) 今後の主要プロジェクト	28

1 市 勢

(1) 概 況

浜田市は、島根県西部の中央に位置し、県庁所在地である松江市からは 124 km、山口県山口市からは 121 km、また、山陽側の広島県広島市から 107 kmの位置にあります。

平成 17 年 10 月 1 日に、旧浜田市と旧那賀郡(金城町、旭町、弥栄村、三隅町)の 3 町 1 村が合併し、本市独自の「浜田那賀方式自治区制度」のもとに、新浜田市が誕生し、県下で 3 番目の人口を有する市となりました。合併により市域は、面積が 690.66 km²(東西 46.4 km、南北 28.1 km)となり、北部は 55 kmに及ぶリアス式海岸が占め、東部は江津市、西部は益田市に、南部は広島県北広島町に隣接しています。

地勢は、市の大部分が丘陵地や山地で、中国山地が日本海まで迫り、また、切り立ったリアス式地形と砂丘海岸の織り成す海岸線は、優れた自然景観と天然の良港をもたらしています。市内には、浜田川、周布川、三隅川等の主要河川が流れており、水資源に恵まれ、河川の下流域には平地を形成し、市街地や農地が展開しています。豊かな自然を有し、多面的機能を持つ中山間地域に恵まれ、環境の保全や地下水の涵養等に大きな役割を果たしています。

気候は、山間部では積雪の多い地域がありますが、県内他地域と比較して平均気温は高く、豊かな四季と温暖な気候に恵まれた住みよい環境にあります。

(2) 沿 革

浜田の名の起こりは「浜」を拓き、「田」にしたことによると伝承されています。

古代には、石見国庁、国分寺などが置かれ、広く石見地方を統括するなど、政治、経済、文化の拠点として栄え、中世には、福屋氏、周布氏、三隅氏などの豪族が支配し、周布氏や三隅氏は朝鮮王朝とも交易を行いました。

江戸時代、海岸部には浜田藩(5.5 万石)の城下町が置かれ、山間部には津和野藩(4.1 万石)領がありました。

明治 3 年(1870 年)、浜田県の県庁所在地となり石見の中核都市としての土台が築かれました。明治 9 年(1876 年)には島根県と合併し、那賀郡役所が置かれるとともに、港の整備や山間部の道路整備などの近代化が図られてきました。

大正から昭和にかけては、鉄道の敷設や浜田漁港の整備などが進められ、重要港湾浜田港及び特定第三種漁港浜田漁港を有する日本海有数の港町となるなど、陸海交通の要衝として発展してきました。

平成に入り、中国横断自動車道広島浜田線の開通、重要港湾三隅港の開港や中国電力三隅火力発電所の運転開始、韓国釜山港との国際定期コンテナ航路の開設などが進められ、環日本海地域における陸海の交通、物流拠点としての位置付けが高まっています。

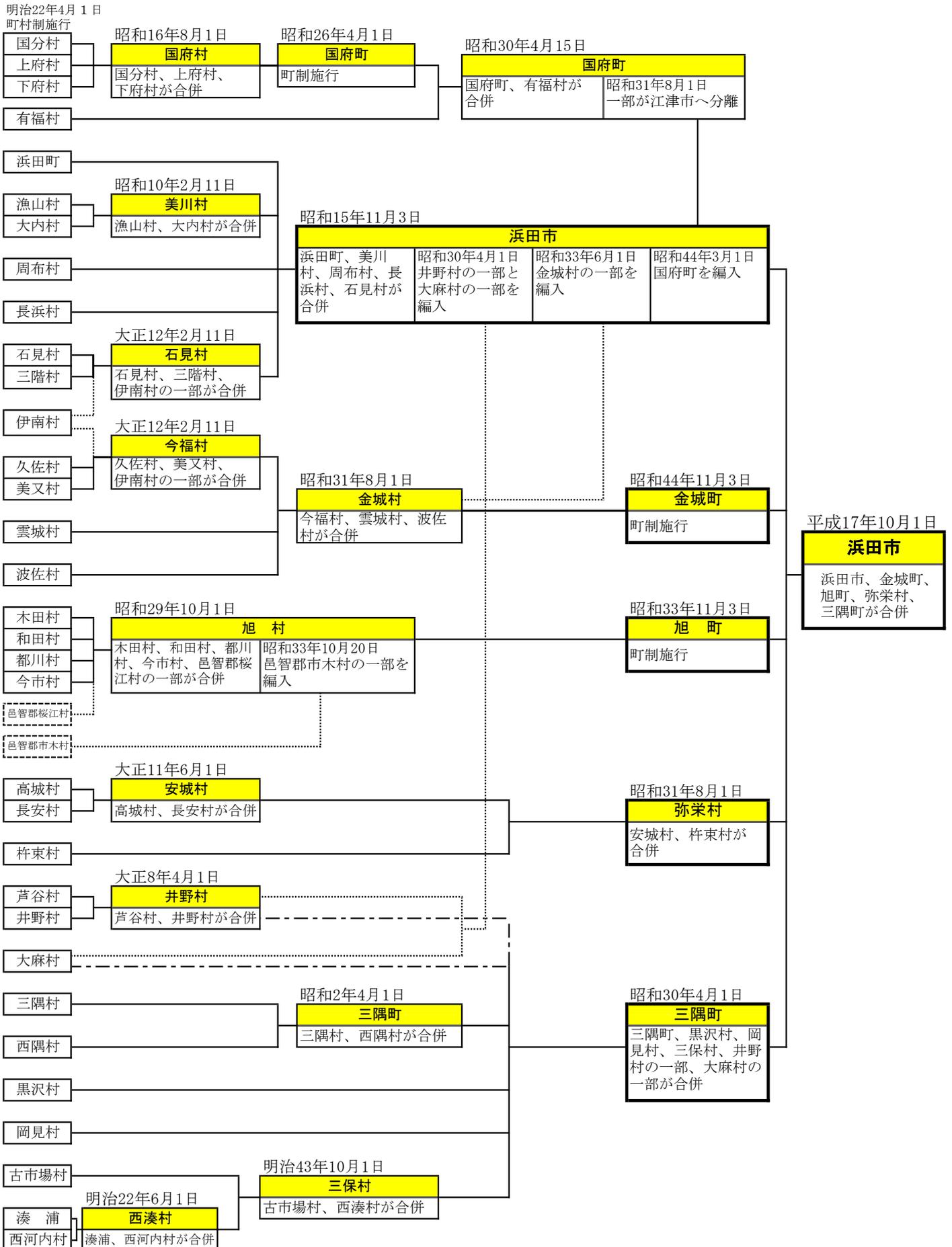
また、地域の知的財産として、島根県立大学やリハビリテーションカレッジ島根が開学し、公開講座やフィールドワークなどを通じて地域・市民との交流が進んでいます。

合併後には、浜田医療センターの開設、浜田駅周辺の整備、島根あさひ社会復帰促進センター、中央図書館、統合小学校、学校給食センター、山陰自動車道の整備などを始めとした基盤整備や、大規模農業団地「新開団地」の整備、石州半紙のユネスコ無形文化遺産への登録や浜田港の重点港湾選定など、市政の発展に向けた様々な取組が着実に進められてきました。

今後も、島根県西部の中核都市として更なる飛躍を目指し、本市の将来像「住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田 ～豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にすまち～」のもと、元気な浜田づくりを進めます。

(3) 浜田市の変遷

明治22年の町村制施行時には、現在の市域に1町31村(後に邑智郡の一部を編入)がありました。その後、明治・大正・昭和の合併や町制施行等を経て、旧浜田市と旧金城町・旭町・弥栄村・三隅町が成立しました。そして平成17年10月1日、1市3町1村の合併により、新「浜田市」が誕生しました。



(4) 位置



(5) 市章(H18.2.23 制定)



波頭の図案が「浜」を、中央の十字星は輝く未来を表わし、同時に全体として里山にある「田」の文字を表徴。

(6) 憲章・宣言など ※()内は制定日

市民憲章(H18.10.1)、浜田市民歌(H18.10.1)、高齢者憲章(H20.3.21)
 核兵器廃絶平和都市宣言(H18.6.21)、スポーツ都市宣言(H18.10.1)、
 人権尊重都市宣言(H20.6.25)、市民防災の日「7月23日」(H18.6.21)、
 いのちと安全安心の日「10月26日」(H22.9.22)

(7) 市の花、木、魚(H21.10.1 制定)



市の花「つつじ」



市の木「さくら」



市の魚「のどぐろ」

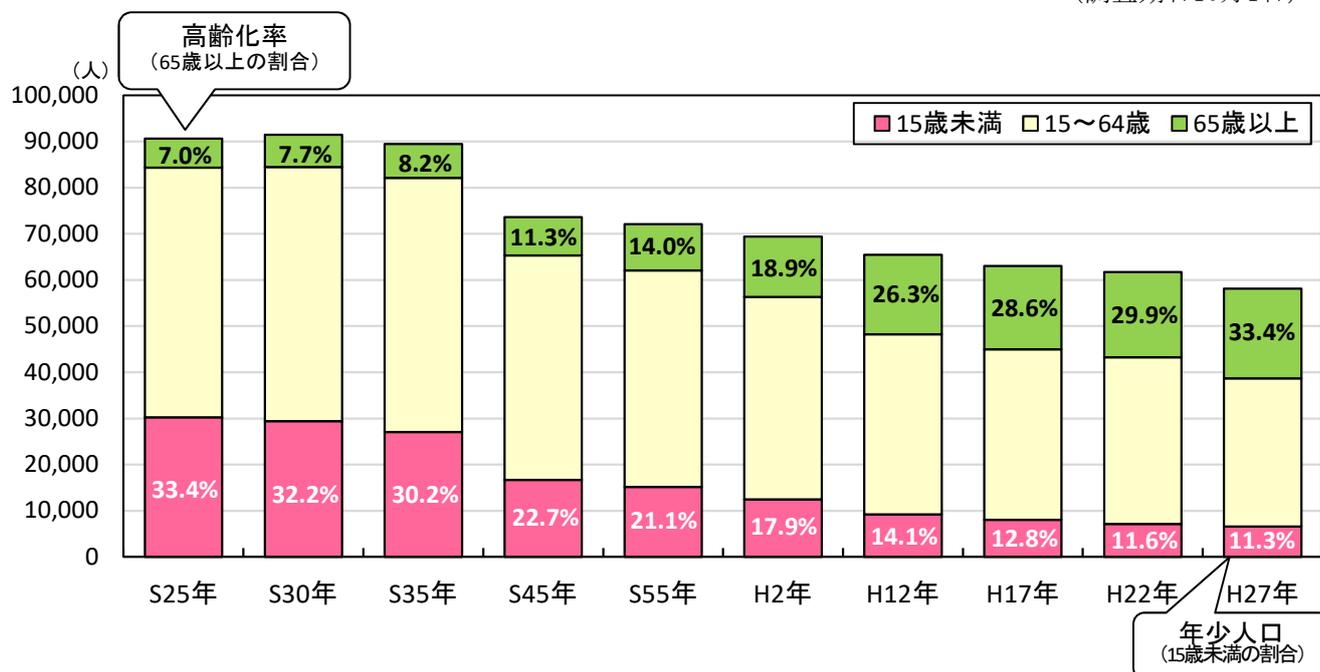
2 人 口

(1) 国勢調査からみる人口の推移

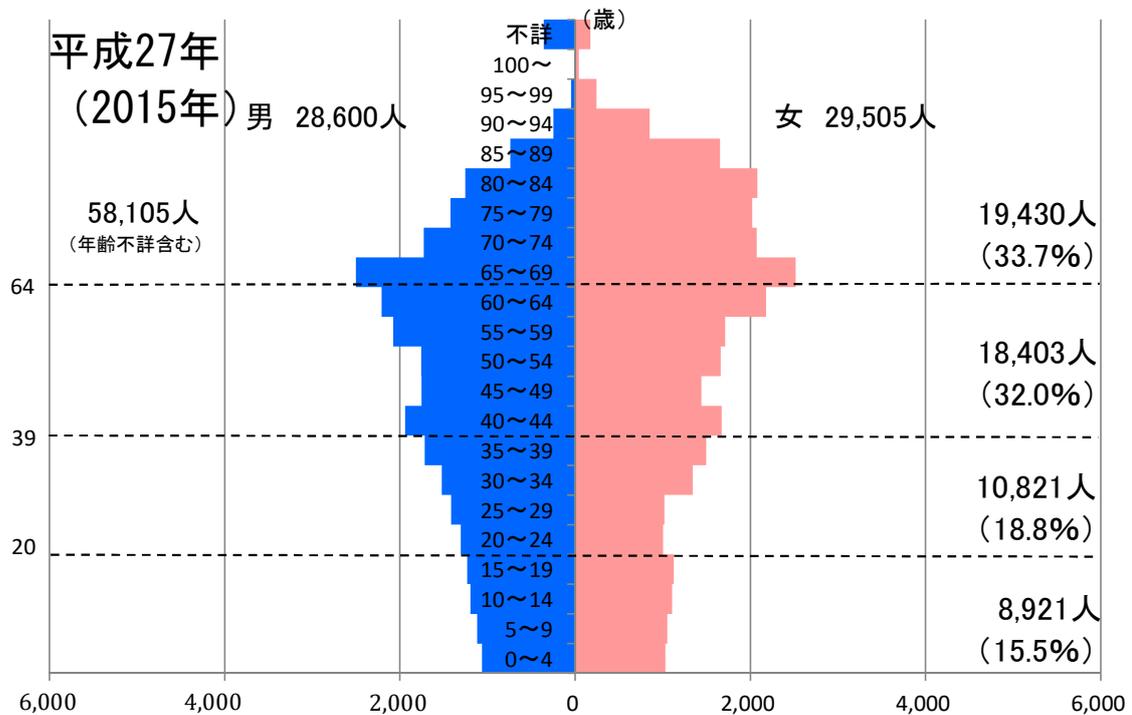
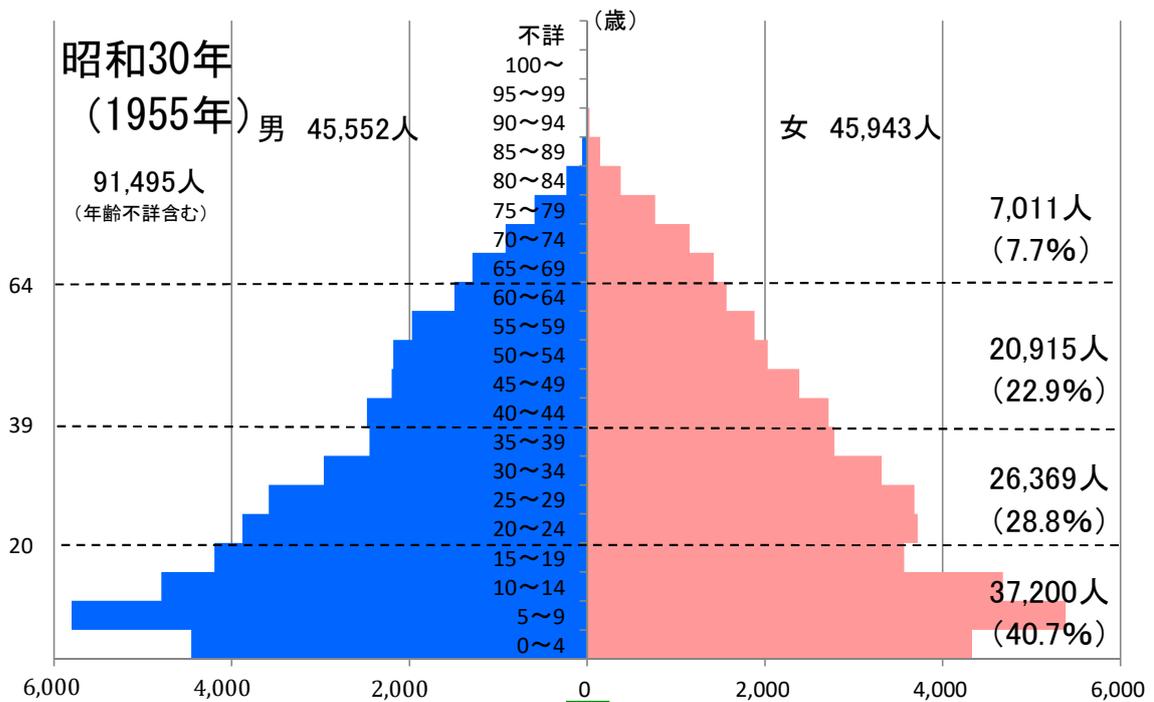
(単位:人)

区 分	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和45年	昭和55年	平成2年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口	90,629	91,495	89,472	73,592	72,130	69,411	65,463	63,046	61,713	58,105
年少人口 (15歳未満)	30,235 (33.4%)	29,439 (32.2%)	27,042 (30.2%)	16,722 (22.7%)	15,190 (21.1%)	12,444 (17.9%)	9,206 (14.1%)	8,053 (12.8%)	7,144 (11.6%)	6,565 (11.3%)
老年人口 (65歳以上)	6,300 (7.0%)	7,011 (7.7%)	7,309 (8.2%)	8,295 (11.3%)	10,077 (14.0%)	13,104 (18.9%)	17,237 (26.3%)	18,061 (28.6%)	18,450 (29.9%)	19,430 (33.4%)
世帯数	-	-	21,262	21,040	22,440	23,134	24,724	25,023	24,972	24,498
浜田自治区	52,827	55,511	54,491	49,407	50,799	49,135	47,187	45,910	43,905	41,777
年少人口 (15歳未満)	17,210	17,115	15,767	11,468	11,308	9,075	6,939	6,188	5,501	5,027
老年人口 (65歳以上)	3,378	3,864	3,980	4,728	6,100	8,206	11,061	11,971	12,431	13,303
世帯数	-	-	13,420	14,387	16,029	16,587	18,155	18,554	18,584	18,399
金城自治区	9,713	9,483	8,231	5,628	5,329	5,666	5,216	4,976	4,622	4,426
年少人口 (15歳未満)	3,350	3,266	2,699	1,242	1,011	1,048	707	594	525	498
老年人口 (65歳以上)	729	832	758	775	879	1,244	1,639	1,647	1,576	1,700
世帯数	-	-	1,805	1,526	1,524	1,659	1,663	1,685	1,704	1,641
旭自治区	6,401	6,522	7,051	4,832	4,058	3,840	3,198	2,978	4,888	4,243
年少人口 (15歳未満)	2,165	2,214	2,342	946	674	546	363	274	320	324
老年人口 (65歳以上)	505	578	687	753	882	1,065	1,312	1,293	1,287	1,216
世帯数	-	-	1,617	1,355	1,263	1,385	1,170	1,107	1,314	1,215
弥栄自治区	5,101	5,008	5,288	2,853	2,179	1,869	1,789	1,612	1,494	1,343
年少人口 (15歳未満)	1,710	1,660	1,618	670	357	245	206	186	140	125
老年人口 (65歳以上)	417	446	475	433	463	556	723	680	683	651
世帯数	-	-	1,176	825	720	648	708	634	591	531
三隅自治区	16,587	14,971	14,411	10,872	9,765	8,901	8,073	7,570	6,804	6,316
年少人口 (15歳未満)	5,800	5,184	4,616	2,396	1,840	1,530	991	811	658	591
老年人口 (65歳以上)	1,271	1,291	1,409	1,606	1,753	2,033	2,502	2,470	2,473	2,560
世帯数	-	-	3,244	2,947	2,904	2,855	3,028	3,043	2,779	2,712

(調査期日10月1日)



【人口構成の推移】



※国勢調査の数値による

本市では、昭和35年以降、若年層を中心に人口流出が続き、年々人口は減少しています。特に、昭和30年代後半からの高度経済成長期には、大企業及び工場などが集積する京阪神工業地帯を中心に人口が流出しました。昭和35年から平成27年までの55年間に31,367人の人口が減少しました。

本市においては過疎化に加え、少子化、高齢化が急速に進行していることがうかがえます。過疎化の要因としては、自然的要因のほか、雇用機会の不足、生活環境整備の遅れなどが考えられます。

(2) 住民基本台帳登録数からみる人口の推移

(単位:人)

	昭和45年	昭和55年	平成2年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年
人口	74,366	72,391	69,396	65,296	62,699	59,476	56,382	55,546	54,922
外国人登録者	286	237	228	429	653	704	608	613	631
計	74,652	72,628	69,624	65,725	63,352	60,180	56,990	56,159	55,553
世帯数	21,071	22,234	23,564	24,906	25,401	26,507	26,715	26,628	26,559

※平成17年以前の数値は、旧市町村の合計

(4月1日現在登録者数)

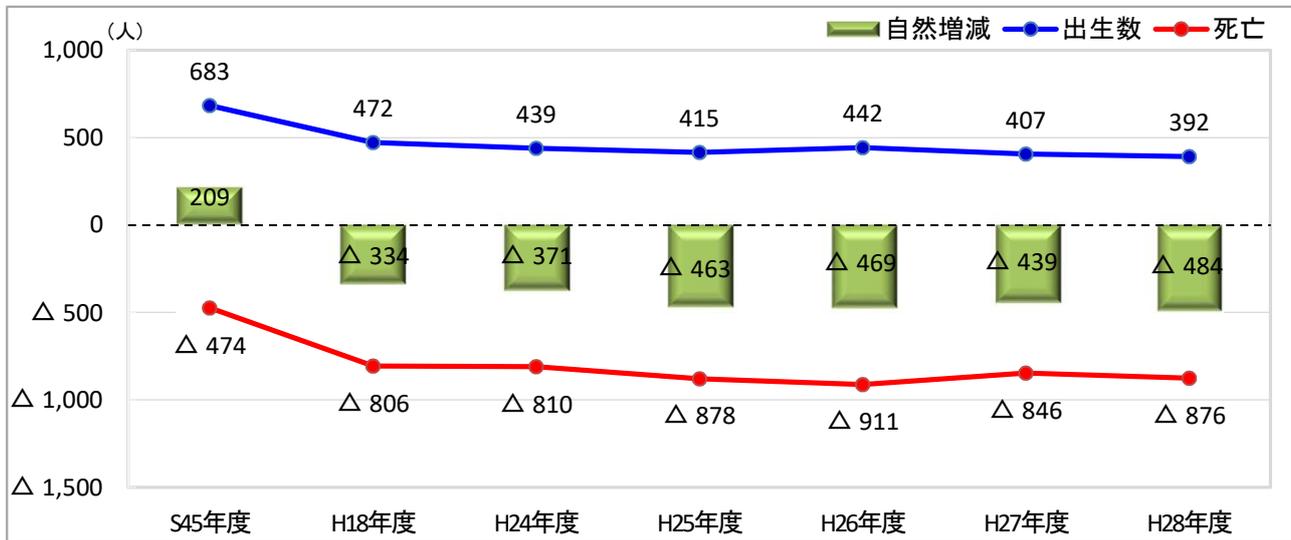
(3) 自然動態の動向(出生と死亡)

(単位:人)

	昭和45年度	平成18年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
出生数	683	472	439	415	442	407	392
死亡	△ 474	△ 806	△ 810	△ 878	△ 911	△ 846	△ 876
自然増減	209	△ 334	△ 371	△ 463	△ 469	△ 439	△ 484

※平成24年7月9日以降は外国人の届出を含む。

(4月1日現在登録者数)



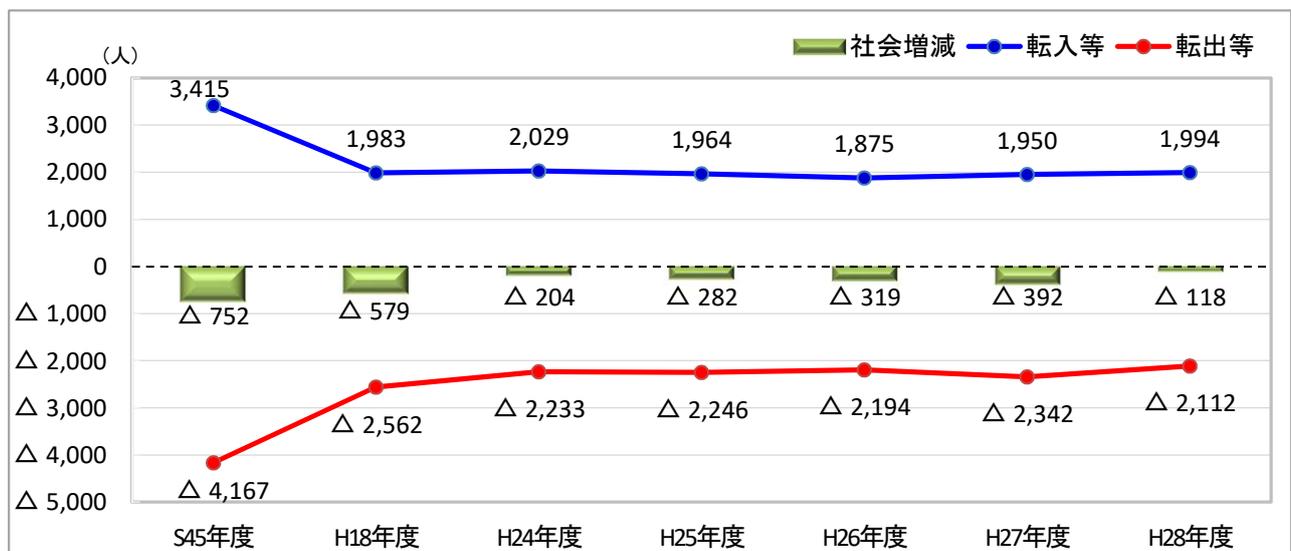
(4) 社会動態の動向(転入と転出)

(単位:人)

	昭和45年度	平成18年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
転入等	3,415	1,983	2,029	1,964	1,875	1,950	1,994
転出等	△ 4,167	△ 2,562	△ 2,233	△ 2,246	△ 2,194	△ 2,342	△ 2,112
社会増減	△ 752	△ 579	△ 204	△ 282	△ 319	△ 392	△ 118

※平成24年7月9日以降は外国人の届出を含み、転入等に資格取得・転出等に出国通知・職権消除等を合算

(4月1日現在登録者数)



3 高等教育機関の状況

(1) 島根県立大学浜田キャンパスの状況

①概要

平成12年4月に「総合政策学部」を設置し開学した島根県立大学は、創造性豊かで実践力のある人材を育成するとともに、地域に知の還元を行うことで、地域社会の活性化及び発展に寄与し、さらに国際社会に貢献することを目指しています。

浜田キャンパスでは、大学院に「北東アジア開発研究科」、研究機関として「北東アジア地域研究センター」を開設し、北東アジア地域との相互交流の中で、学術研究面での拠点の一つになることにより、本県及び北東アジア地域が抱える諸課題の解決と発展に向けた活動を推進しています。

「地域に根ざし、地域と共に歩む大学」として、地域活動への積極的な参加や市民との交流、浜田市との共同研究を行うなど、地域に貢献する大学を目指しており、平成25年度から開始された文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択され、「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」と名付けた事業計画のもと地域貢献への取り組みを進めています。

また、浜田キャンパスにおいては、平成29年3月卒業者の就職内定率が、公立大学トップクラスの98.0%と、開学以来、県内外の企業や行政機関などへの高い就職率を維持しています。

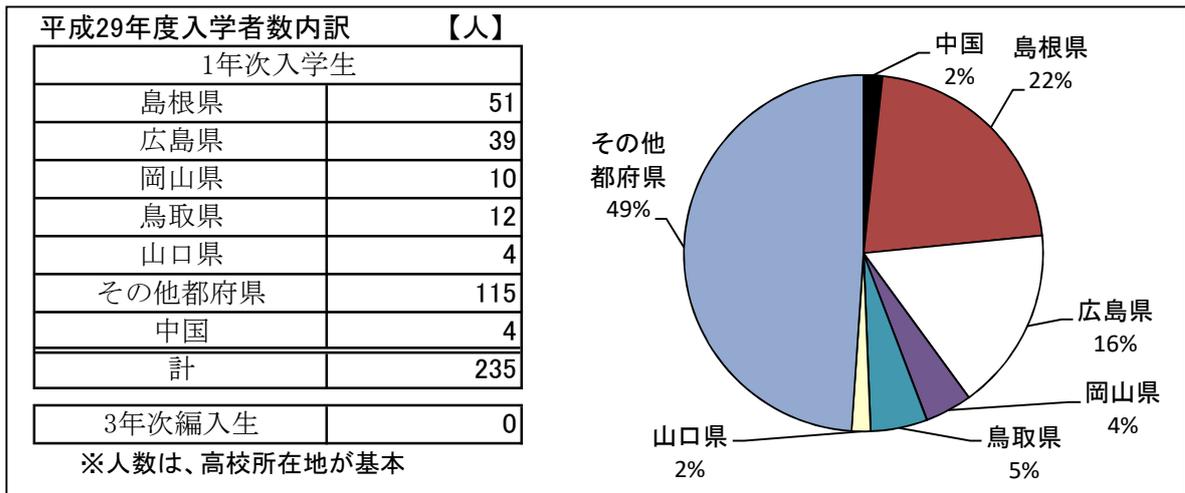
なお、平成19年4月には、島根女子短期大学(松江市)と看護短期大学(出雲市)との大学統合によって公立大学法人島根県立大学となり、出雲キャンパスには、平成24年4月に「看護学部」を、平成28年4月に大学院「看護学研究科」を開設しており、平成30年4月からは、松江キャンパスの短期大学部を四年制化し、改組することとしています。



島根県立大学浜田キャンパス

②総合政策学部 在籍学生数 (平成29年4月1日現在)

4年生 258人 3年生 224人 2年生 232人 1年生 235人 合計 949人



③大学院 在籍学生数(平成29年4月1日現在)

2年生 10人 1年生 13人 合計 23人 (博士前期課程)
 3年生 11人 2年生 8人 1年生 1人 合計 20人 (博士後期課程)

北東アジア開発研究科(平成21年度開設)

I 博士前期課程北東アジア専攻(定員1学年 5名、修業年限 2年) 12名 ※秋学期入学予定 0名
 II 博士前期課程地域開発政策専攻(定員1学年 5名、修業年限 2年) 11名 ※秋学期入学予定 0名
 III 博士後期課程(定員1学年 2名、修業年限 3年) 20名 ※秋学期入学予定 0名

④就職内定状況(平成29年3月卒業者)

	卒業生数	男	女	計
		136人	83人	219人
就職	(卒業生内訳) 就職希望者	126人	78人	204人
	就職内定者	123人	77人	200人
	就職内定率	97.6%	98.7%	98.0%
進学	大学院、専門学校等	6人	2人	8人

(平成29年5月1日現在)

⑤就職地域

	人数	比率
県外就職者	154人	73.0%
県内就職者	46人	23.0%
県内就職の内訳	男	女
石見地域	7人	4人
出雲地域	20人	15人
計	27人	19人

(平成29年5月1日現在)

(2)リハビリテーションカレッジ島根の状況

①概要

リハビリテーションカレッジ島根は、県内では初めてのリハビリテーションの専門学校として平成10年4月に開校しました。急速に進む高齢化社会の中で重要な役割を担う、リハビリテーション医療の高度専門士として医療や福祉の現場を支える人材を育成しています。

市内就職に意気込みのある方を対象に、授業料の軽減など経済的負担の緩和を行う「キャリアアップ希望者特待生枠」を設けるなど、様々な学生確保対策に取り組んでいます。

本市からも、入学金の実質無料化や奨学金の返還免除、臨床実習費の無料化など経済的負担への支援を行っているところです。

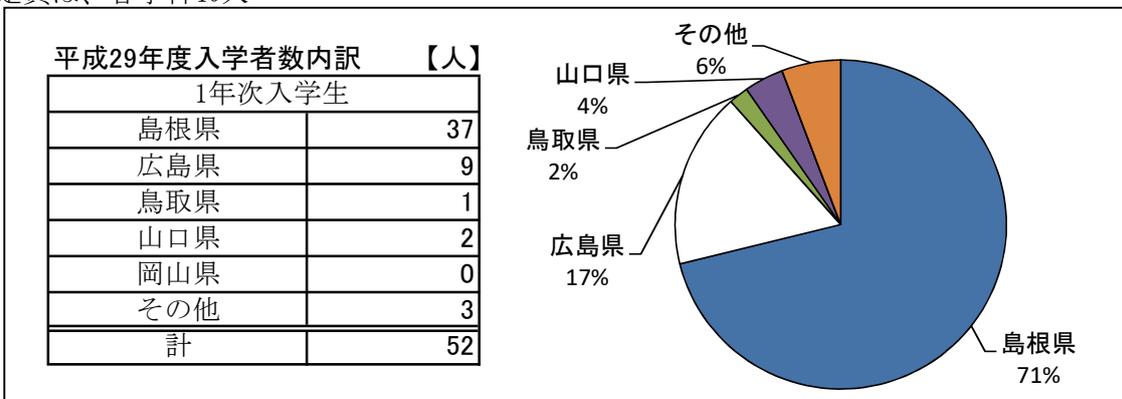


リハビリテーションカレッジ島根

②在籍学生数（平成29年4月現在）

学科	4年生	3年生	2年生	1年生	合計
理学療法学科	27	25	21	25	98
作業療法学科	12	9	15	15	51
言語聴覚学科	14	13	9	13	49
合計	53	47	45	53	198

※定員は、各学科40人



③求人状況（平成29年3月卒業生への求人）

学科	求人施設数	求人数
理学療法学科	621	2,413
作業療法学科	653	2,256
言語聴覚学科	505	1,190
合計	1,779	5,859

※求人施設は重複先があるため延数(実数は929施設)

④就職内定状況（平成28年度国家試験合格者）

	男	女	計
国家試験合格者数	27	17	44
うち就職希望者	27	17	44
就職内定者	27	17	44
就職内定率	100%	100%	100%

(就職地域)

	県内	西部	東部	県外	合計
人数	21	16	5	23	44
比率	47.7%	36.4%	11.3%	52.3%	100%

⑤卒業生の主な就職先（島根県西部地域）

国立病院機構浜田医療センター、西川病院、沖田病院、中村整形外科、水澄み会、山根病院、ホットケアセンター、夕陽ヶ丘、愛心会、さざんか、益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、松ヶ丘病院、梅寿会、せせらぎ、あすかデイケアセンター、まほろば、六日市病院、大田市立病院、たてがみの郷、済生会江津総合病院、西部島根医療福祉センター、敬川沖田クリニック、加藤病院、三笠記念病院 ほか

⑥学科別在籍学生数の推移（4月現在）

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	学生数	うち新入生										
理学療法学科	84	31	94	27	117	34	116	29	104	23	98	25
作業療法学科	46	15	62	21	61	15	62	11	62	17	51	14
言語聴覚学科	23	9	36	17	38	12	44	13	48	10	49	13
合計	153	55	192	65	216	61	222	53	214	50	198	52

(3) 浜田医療センター附属看護学校の入学状況

① 入学者数の推移(平成29年4月現在)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
(定員40人)	37	39	37	49

② 入学者数内訳

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
島根県	35	37	36	44
鳥取県	0	1	0	0
山口県	1	1	0	0
長崎県	0	0	1	1
広島県	1	0	0	4



浜田医療センター附属看護学校

(4) 浜田准看護学校の入学状況

① 入学者数の推移(平成29年4月現在)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
(定員30人)	25	24	23	21

② 入学者数内訳

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
島根県	24	24	23	19
東京都	1	0	0	0
広島県	0	0	0	1
京都府	0	0	0	1



浜田准看護学校

(5) 浜田ビューティーカレッジの入学状況

① 入学者数の推移(平成29年4月現在)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
専門課程(美容科)	5	2	4
高等課程(美容科)	6	4	3
通信課程(美容科)	4	3	0
合計	15	9	7

※修業年数 専門課程：2年 高等課程・通信課程：3年

※通信課程は、10月入学

※定員は、各課程20人



浜田ビューティーカレッジ

② 入学者数内訳

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
島根県	12	7	6
広島県	2	2	0
鳥取県	1	0	0
熊本県	0	0	1

4 教育・児童福祉の状況

(1) 小中学生数の推移

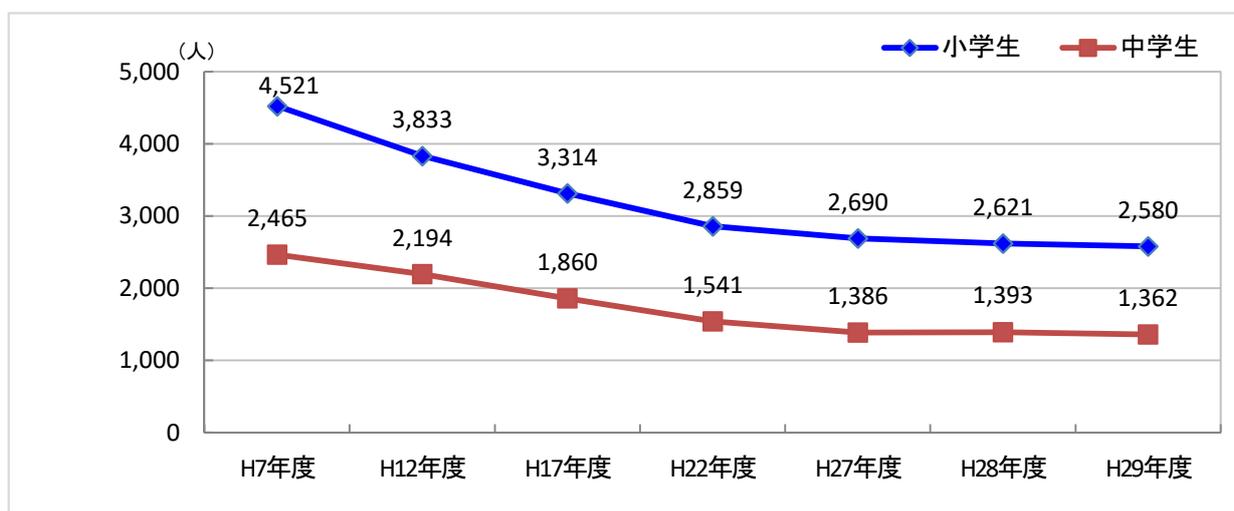
本市の児童生徒数は、平成7年には6,986人でしたが、平成17年は5,174人、平成29年は3,942人と、減少しています。

また、学校数は、平成7年は小学校34校、中学校12校、平成17年には小学校30校、中学校9校、平成29年には小学校16校、中学校9校と、児童生徒数の減少に伴う統廃合により減少しています。

(単位:人)

	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学生	4,521	3,833	3,314	2,859	2,690	2,621	2,580
浜田自治区	3,242	2,859	2,582	2,202	2,082	1,999	1,963
金城自治区	400	308	222	206	204	225	209
旭自治区	209	155	105	113	116	111	123
弥栄自治区	92	86	83	66	39	42	48
三隅自治区	578	425	322	272	249	244	237
中学生	2,465	2,194	1,860	1,541	1,386	1,393	1,362
浜田自治区	1,735	1,565	1,373	1,165	1,034	1,072	1,057
金城自治区	231	194	160	121	127	105	104
旭自治区	110	107	69	58	52	53	50
弥栄自治区	72	41	41	36	38	34	27
三隅自治区	317	287	217	161	135	129	124
合計	6,986	6,027	5,174	4,400	4,076	4,014	3,942

(学校基本調査)



(2) 幼稚園(公立)の園児数の推移

(単位:人)

	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
原井幼稚園	44	39	77	49	23	14	13
石見幼稚園	113	90	92	48	65	55	42
長浜幼稚園	37	34	44	31	33	32	26
美川幼稚園	12	13	17	36	22	21	17
合計	206	176	230	164	143	122	98

(学校基本調査)

(3) 市内県立高校(3校)の卒業者数の推移

(単位:人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
浜田高校(全日制)	191	183	221	195
浜田高校(定時制)	2	7	6	12
浜田高校(通信制)	27	31	34	28
浜田商業高校	111	85	89	65
浜田水産高校	51	47	33	43
浜田水産高校(専攻科)	8	8	7	10

※平成29年5月産業政策課調べ

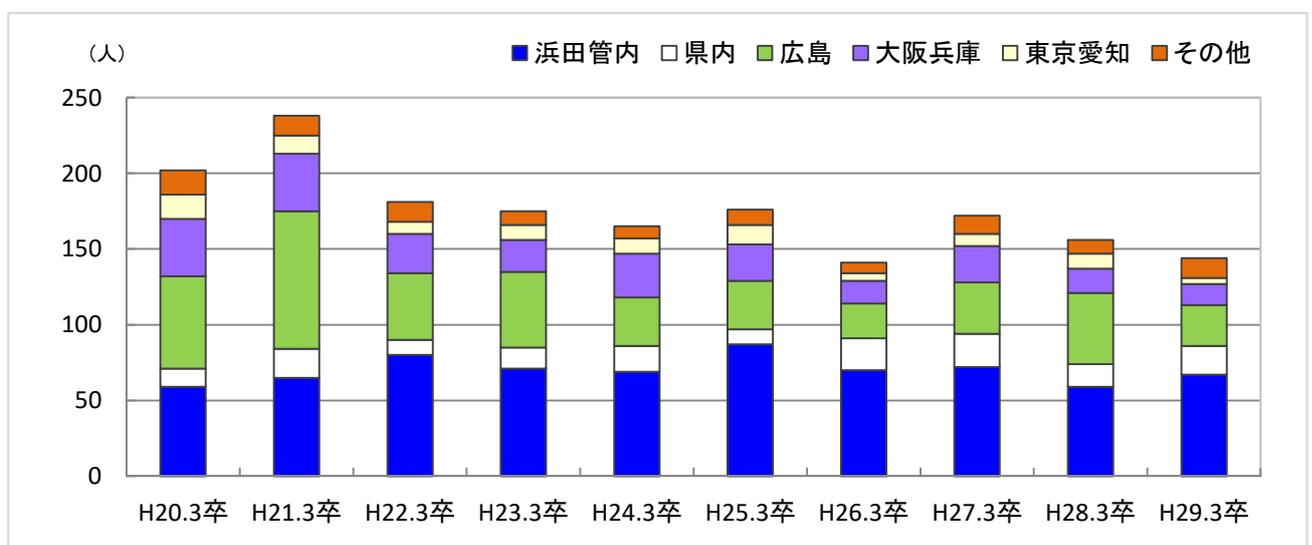
(4) 高校生の就職状況

高校生の就職先は、浜田管内及び県内の就職割合が増加しました。高校生の求人倍率は、全国的な企業の採用意欲の高まりから前年度より増加していますが、地元企業の魅力が生徒に伝わったものと考えられます。

(単位:人、%)

	平成21年3月卒		平成22年3月卒		平成23年3月卒		平成24年3月卒		平成25年3月卒		平成26年3月卒		平成27年3月卒		平成28年3月卒		平成29年3月卒	
	人員	構成比																
浜田管内	65	27.3	80	44.2	71	40.6	69	41.8	87	49.4	70	49.6	72	41.9	59	37.8	67	46.5
浜田管外(県内)	19	7.9	10	5.5	14	8.0	17	10.3	10	5.7	21	14.9	22	12.8	15	9.6	19	13.2
広島	91	38.2	44	24.3	50	28.6	32	19.4	32	18.2	23	16.3	34	19.8	47	30.1	27	18.8
大阪・兵庫	38	15.9	26	14.4	21	12.0	29	17.6	24	13.6	15	10.6	24	14.0	16	10.3	14	9.7
東京・愛知	12	5.0	8	4.4	10	5.7	10	6.1	13	7.4	5	3.5	8	4.7	10	6.4	4	2.8
その他	13	5.4	13	7.2	9	5.1	8	4.8	10	5.7	7	5.0	12	7.0	9	5.8	13	9.0
合計	238		181		175		165		176		141		172		156		144	

(浜田公共職業安定所調べ)



(5) 浜田市立図書館の利用状況

平成25年8月10日に開館した中央図書館は、平成28年4月15日に来館者数が50万人を達成しました。

また、中央図書館を中心として金城、旭、弥栄、三隅の分館体制のなか、蔵書の充実や各種イベント等の開催により、読書活動の普及を図りました。



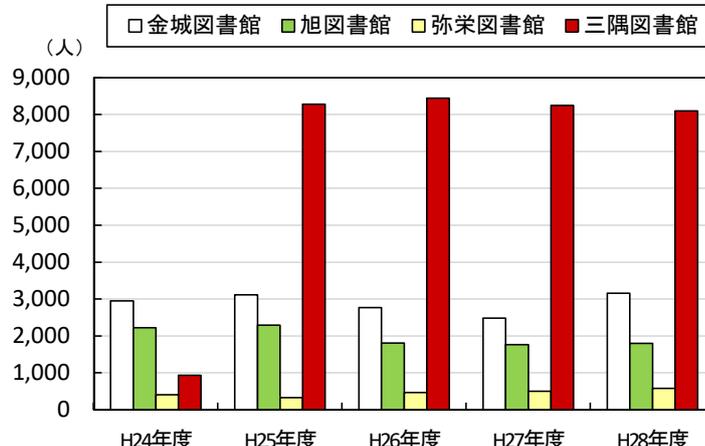
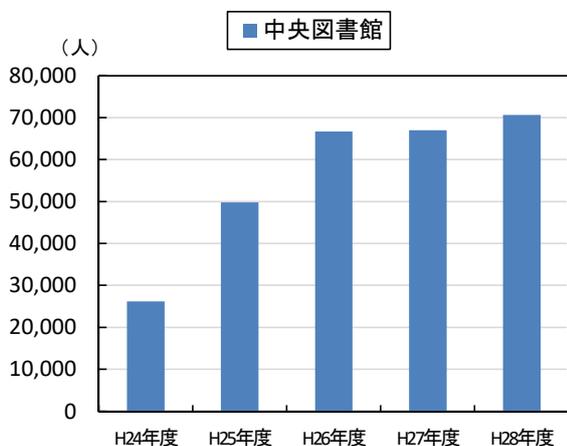
中央図書館

① 利用者数の推移

(単位:人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
中央図書館	26,203	49,842	66,734	67,031	70,657
金城図書館	2,950	3,119	2,770	2,487	3,163
旭図書館	2,230	2,297	1,810	1,766	1,800
弥栄図書館	408	332	466	503	585
三隅図書館	940	8,281	8,447	8,250	8,107

※移動図書館(ラブリック号)の利用者数は、中央図書館に含む(ラブリック号は平成19年12月から運行開始)。



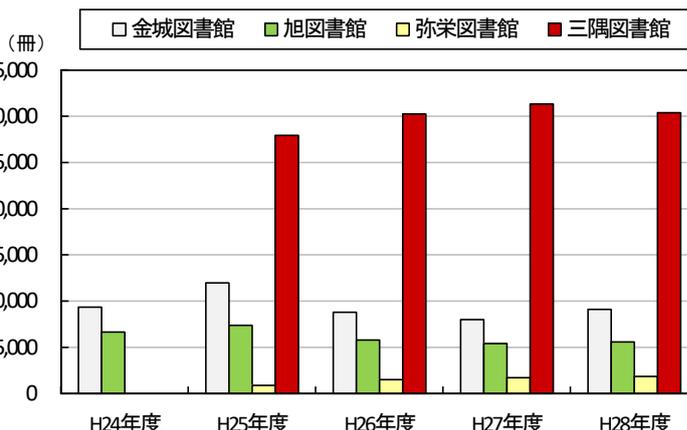
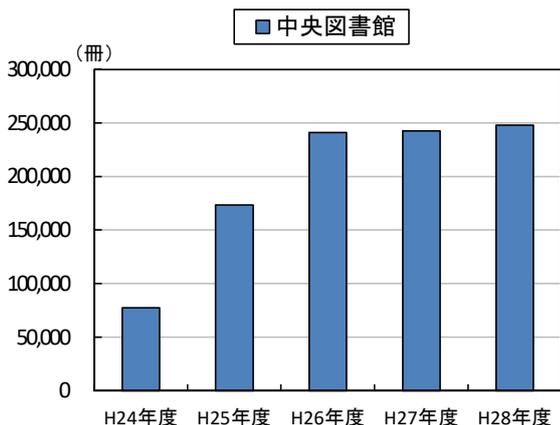
② 貸出冊数の推移

(単位:冊)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
中央図書館	77,572	173,373	241,169	242,546	248,100
金城図書館	9,384	11,981	8,808	8,022	9,139
旭図書館	6,675	7,399	5,823	5,440	5,597
弥栄図書館 (図書室として集計なし)		911	1,540	1,743	1,891
三隅図書館 (図書室として集計なし)		27,930	30,260	31,329	30,413

※中央図書館:平成25年2月から平成25年8月10日まで休館
 ※移動図書館:平成25年2月から9月まで運休
 ※平成27年5月11日~5月31日まで図書館システム更新のため全館休館

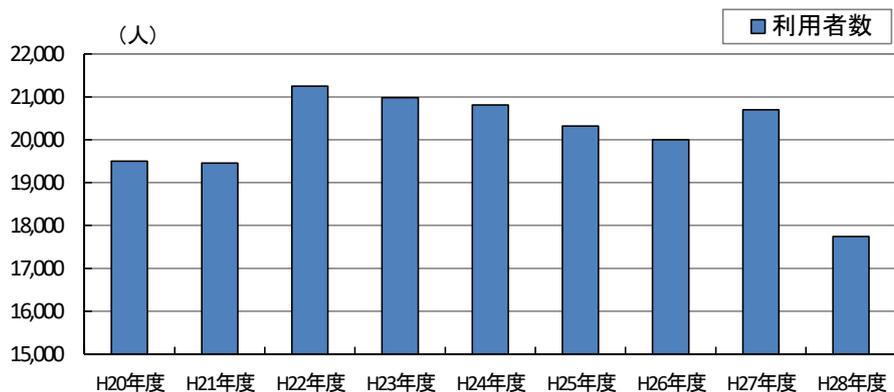
※移動図書館(ラブリック号)の貸出冊数は、中央図書館に含む(ラブリック号は平成19年12月から運行開始)。



(6) 子育て支援センター(すくすく)利用者数の推移

(単位:人)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	19,499	19,456	21,249	20,985	20,807	20,318	20,002	20,700	17,740



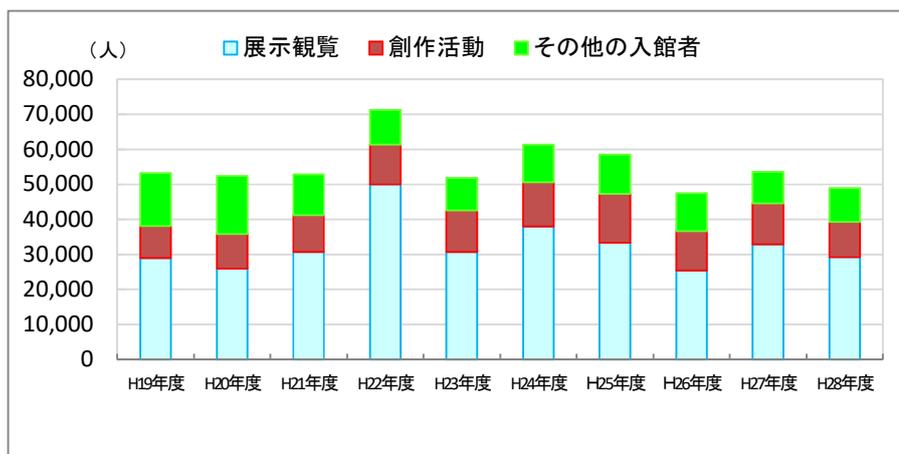
子育て支援センター(すくすく)

(7) 世界子ども美術館利用者数の推移

(単位:人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
展示観覧	28,916	25,976	30,679	50,038	30,697	38,002	33,397	25,402	32,944	29,173
創作活動	9,179	9,804	10,462	11,316	11,815	12,571	13,895	11,278	11,599	10,082
その他	15,125	16,653	11,686	9,952	9,380	10,799	11,235	10,826	9,093	9,722

※その他の入館者：多目的ホールでの展示、コンサート他

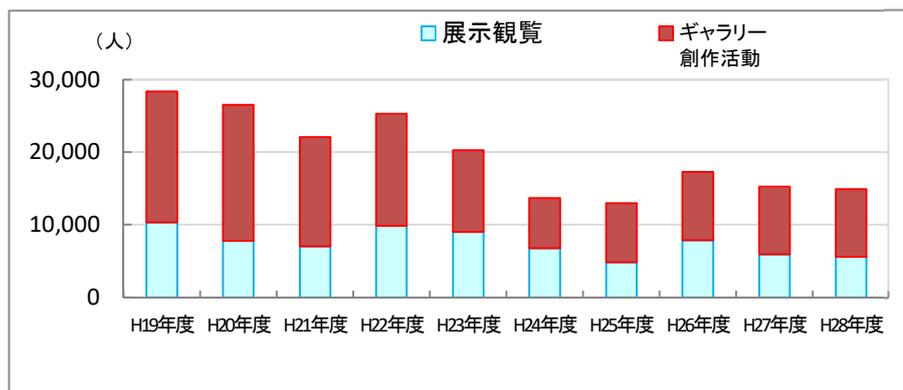


世界子ども美術館

(8) 石正美術館入館者数の推移

(単位:人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
展示観覧	10,333	7,746	7,055	9,847	9,022	6,759	4,820	7,869	5,921	5,559
ギャラリー 創作活動	18,003	18,776	15,018	15,479	11,212	6,913	8,154	9,401	9,335	9,355



石正美術館